

「熊本保健科学大学 レストラン ピリア」

Kumamoto Health Science University Restaurant Philia



■大学の新たな顔となるコンバージョン

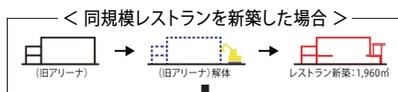
保健医療系大学における学生数の増加に伴う大学レストランの収容能力不足を解消するためのプロジェクトである。大学開設当初の開発許可における制約によりキャンパス内に建物を新築出来る余地がなかったがキャンパス隣地に新アリーナ（体育館）を2018年に完成させていた。そこで新レストランは旧アリーナを解体し、同地に新築するスクラップアンドビルドを行うのではなく、レストランにコンバージョンする事で施設価値の再向上を目指すと共に、既存躯体の活用を図り脱炭素における新たなスタンダードとしての在り方を目指した。

■建屋内増築と建屋外増築

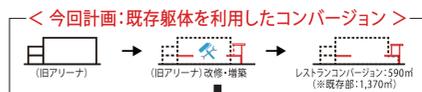
本計画は既存建物と別構造とした床を建屋内と建屋外に計画し、構造上2棟の計画としている。大学の新たな顔となるフロントゲートを支える柱はφ165.2×22の鋼管を採用し、2階の露出した大梁は、ジョイントの無いディティールに対して施工試験、溶接手順など確認を行い、意匠性の高いシンプルな独立柱とした。旧アリーナ内の増床については既存基礎や基礎梁との干渉回避を考慮して柱配置や基礎計画を行うだけでなく、天井高：約10Mの既存建屋内に杭打機を設置して工事を行う事も考慮する事で既存建屋内に別構造の床増築を実現した。

■既存空間を考慮した快適な設備計画

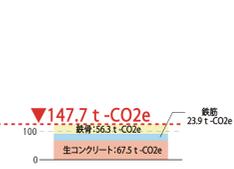
本改修計画では、学生や教職員の皆様が快適に食事を楽しめる空間を目指し、衛生環境の向上およびエネルギー効率の最適化を図った。厨房の排気・給気バランスを形態の変化に柔軟に対応して切り替える制御を取り入れており、空調負荷の低減、環境に配慮した設計している。また、既存建物の形状を有効に活用して改修する事で、建設コストの低減にも大きく貢献した。



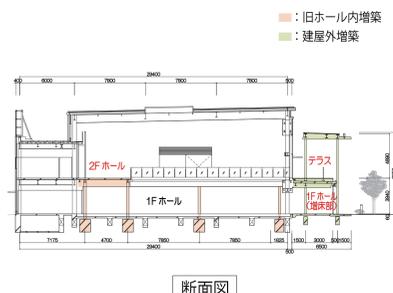
躯体材料製造時に想定されるCO2排出量



躯体材料製造時に想定されるCO2排出量

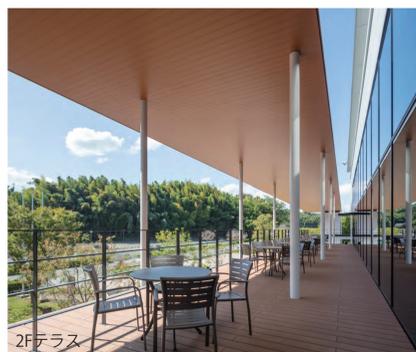
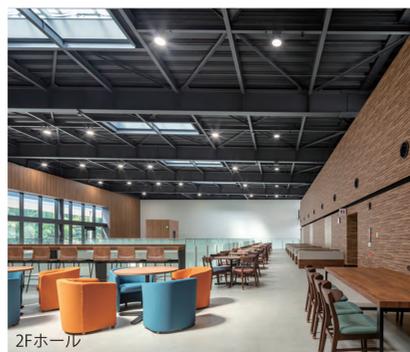


約76% CO2削減



コンバージョンによる脱炭素への挑戦

過去と未来をつなぐ、



■ PROJECT DATA

所在地 熊本県熊本市
 主要用途 大学
 設計・監理 戸田建設九州支店一級建築士事務所

敷地面積 51,663.75㎡
 建築面積 1,511.19㎡
 延床面積 1,960.56㎡
 階数 地上2階
 構造 鉄骨造
 竣工 2020年8月

■ PROJECT MEMBER

PM 鈴木 雄
 意匠 鈴木 雄
 構造 名智 竜哉
 設備 田口 文久